

## ごあいさつ



本町では、吾妻山をはじめとする緑や青々とした湘南の海など、先人から継承してきた豊かな自然を有する点が魅力の一つとして挙げられます。

昭和10年の町制施行以来、今年で80周年を迎えますが、その80年の歴史を振り返りますと、農業や漁業が盛んで、自然が溢れたのどかな町として始まりました。その後、高度成長期の西湘バイパスや小田原厚木道路などの広域幹線交通網の整備をかわきりに、昭和40年代から百合が丘や富士見が丘などといった大規模な宅地造成がはじまり、その豊かな自然と融合するように住居が建ち並ぶことで人口も急増し、都心や横浜等へのアクセス性が高いことから、ベッドタウンとして発展し、現在に至っております。

この80年の歴史の中では、その時々々の社会情勢の変化に応じて「まちづくり」、「都市づくり」を進めてまいりましたが、昨今その社会情勢は目まぐるしく変化し、本町においては少子高齢化や、人口減少という課題に直面しております。

その状況下、総面積9.08km<sup>2</sup>というコンパクトな町域には、それぞれの地域にさまざまな特色があることから、アンケート調査等を通じて、町民の方々のニーズを把握し、それを反映する形で二宮町都市計画マスタープランを改定する運びとなりました。多くの幅広いご意見やご提言をいただきましたことに心より厚く御礼申し上げます。

この二宮町都市計画マスタープランは、本町の20年後の将来を見通し、都市づくりの総合的な指針となるものです。

今後の都市づくりにあたっては、「人と暮らし、文化を育む自然が豊かな町」を将来都市像に掲げ、このプランに沿って進めていくこととなりますが、誰もが「いつまでも住み続けたい町」、「何度も訪れてみたい町」と思っただけのような、計画の推進にあたっては、社会情勢の変化に柔軟に対応するとともに、町民・事業者の方々とより一層の連携を図ることで、きめ細かな都市づくりに寄与してまいりたいと存じますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成27年9月

二宮町長 村田 邦子